

「東日本大震災」被災地支援の取組み

中間報告 Vol.4 2011/09/30

せたがや災害ボランティアセンター

社会福祉法人世田谷ボランティア協会（せたがや災害ボランティアセンター）では、発災直後から被災者の避難生活を支援するため、必要性の高い専門ボランティアの募集および派遣に取り組みました。

医療・保健にかかるスタッフ、ホームヘルパーや介護福祉士、子どものケアに関わるスタッフ、外国人への語学対応スタッフ、障がいのある方への対応スタッフなど、専門ボランティアとして事前登録をいただき、被災者のニーズに応える派遣を継続的に実施しています。

また、7月より被災地でのボランティア活動を応援するボランティアバス等運行の取組みを開始しました。

I. 専門ボランティアの派遣

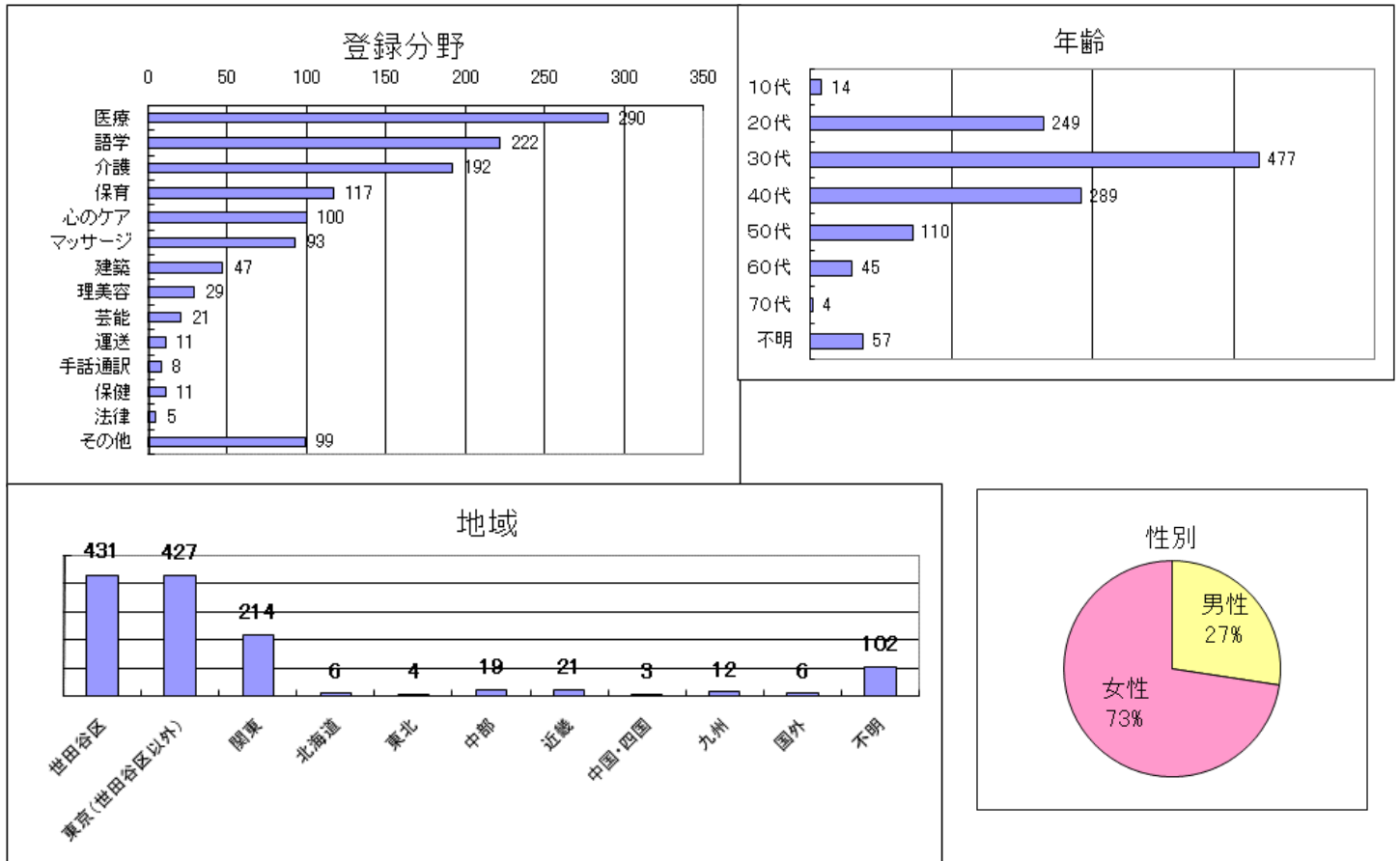
(1) 派遣の流れ

- 先遣隊派遣 専門ボランティアの派遣にあたっては、初めに先遣隊による現地の状況の調査を行うことを基本としております。先遣隊が状況（どのような状況・運営体制にあるか、ボランティアが活動するにあたっての環境はどうか等）の確認と現地との打合せを行います。
- 説明会の開催 その後、登録者に呼びかけて説明会を開催します。説明会では、災害時のボランティア活動についての一般的な留意事項及び現地の被災状況と派遣活動の内容等についての説明を行い、一人ひとりとヒアリングを行い、派遣メンバーを決定します。
- 活動・報告 派遣先では、現地スタッフの指揮の下、主体的に判断し、現地スタッフとの調和、ボランティア同士のチームワークを大事にして活動し、せたがや災害ボランティアセンターへの報告・連絡・相談（提案）を密にします。

(2) 専門ボランティアの事前登録

医療・語学・介護など14分野に分け登録を呼びかけました。

登録人数：延べ1,245人（2011/09/30現在）



(3) 専門ボランティアの活動状況等

派遣人数：7月計19人、8月計14人、9月計9人。3月～9月延べ300人（2011/09/30現在）

①福島県・国立那須甲子青少年自然の家（原発周辺地域からの避難者）

■派遣実績：3月19日～4月11日、延べ30人派遣（3月19人、4月11人）

■派遣の目的：医療（看護）・介護・保健・マッサージ

■活動の状況：当初400名を超える避難者が避難され、高齢者への介護ニーズや医療ニーズが緊急を要しました。その後、高齢者施設避難者が別の施設へ移動し、介護対応は無くなり、徐々に落ち着いてくるなかで、看護師は健康相談や乳幼児を持つ家族からの相談、心理サポートに対応しました。さらに、避難者の精神的、身体的なサポートを目的にマッサージやアロマセラピーなどで身体のケアを行いました。

②福島県会津美里町（楢葉町避難所）

■派遣実績：4月2日～9月8日、延べ88人派遣

（4月56人、5月19人、6月8人、7月3人、8月2人）

■派遣の目的：医療（看護）・介護・保健・助産・保育・マッサージ

■活動の状況：福島県楢葉町が原発事故により福島県会津美里町へ自治体機能移転を含め全町避難し、複数の避難所に多数の避難者が避難生活を余儀なくされました。体育館などでの生活が続くなか、体調を崩される方もおり、医療対応や要介護者への介護対応や医療相談や健康相談などを行いました。

③宮城県女川町避難所

■派遣実績：4月2日～5月18日の週末、計3回、延べ17人派遣

■派遣の目的：美容師・マッサージ

■活動の状況：当初、町役場なども全壊する甚大な被害があり、避難者・行方不明者も多く、避難生活も落ち着かない状況で緊張感もありましたが、避難者に対するヘアカット、マッサージによる精神的・身体的なサポートを目的に活動しました。専門ボランティアの美容師が活動したことがきっかけとなり、持参した器材を活用して地元の理容師有志が活動を受け継ぎました。

④千葉県鴨川市・鴨川青年の家（福島県内の知的障害者施設）

■派遣実績：4月16日～9月16日、延べ45人派遣

（4月10人、5月12人、6月14人、7月6人、8月2人、9月1人）

■派遣の目的：医療（看護）

■活動の状況：原発周辺地域で知的障害者に対する8つの施設を運営していた社会福祉法人が、福島県田村市から千葉県鴨川市の鴨川青年の家へ集団避難をしたため、看護活動のサポートを行いました。

⑤宮城県亘理町避難所

■派遣実績：4月16日～5月8日、要請に応じて土日のみの派遣。延べ17人派遣

■派遣の目的：入浴介助（ヘルパー）

■活動の状況：自衛隊によって仮設風呂が設置されましたが、一人では入浴が難しい避難者の入浴をサポートするため、介護の経験者を派遣しました。

⑥宮城県内の避難所調査

■派遣実績：4月16日～18日、5人派遣（看護師、ヘルパー、社会福祉士、理学療法士）

■派遣の目的：宮城県内での避難所調査

■活動の状況：複数のNPOの集合体で、宮城県内の避難所の実態調査を行っている団体から、「調査の主体が学生のため判断が難しいケースが出てきているので専門的な見地から判断できるボランティアを派遣して欲しい」との依頼があり、避難所調査の応援を行いました。

⑦宮城県気仙沼市災害ボランティアセンター

■派遣実績：4月29日から派遣継続中、延べ27人派遣

（4月2人、5月9人、6月4人、7月6人、8月5人、9月1人）

■派遣の目的：医療

■活動の状況：汚泥やがれきの撤去作業を行うボランティアのための安全衛生コーディネーターとして看護師派遣の要請がありました。送り出しオリエンテーションの時に破傷風、熱中症、食中毒への注意喚起や外傷の応急処置・救護活動を行っています。

⑧福島県いわき市避難所

■派遣実績：4月29日～6月5日、延べ16人派遣（4月6人、5月9人、6月1人）

■派遣の目的：医療・保健

■活動の状況：原発事故による福島県楢葉町の町民のいわき市内での避難生活に対して、現地の医療チームや保健師とともに避難者の医療・衛生管理や健康相談などを行いました。

⑨宮城県女川町福祉避難所

■派遣実績：5月3日～7月2日、延べ37人派遣（5月19人、6月18人）

■派遣の目的：医療・保健

■活動の状況：女川町で被災した介護を必要とする人が、付き添いの家族とともに避難する避難者への医療・健康相談や介護のために、看護師と介護士、ヘルパーを派遣しました。

⑩福島県会津若松市（森のようちえん）

■派遣実績：6月11～12日2人、7月8～9日2人、計2回、延べ4人派遣

■派遣の目的：避難生活を送る子どもたち（未就学児）の交流活動の支援

■活動の状況：会津若松市のNPOによる、会津地方に避難した子どもたちと地元の子どもたちによる山遊び「森のようちえん」事業にボランティアを派遣しています。

⑪岩手県陸前高田市災害ボランティアセンター

■派遣実績：7月2人、8月1人、9月3人派遣、延べ6人派遣

■派遣の目的：医療

■活動の状況：汚泥やがれきの撤去作業等を行うボランティアのため、せたがや災害ボランティアセンターが運行するボランティア応援バスに、看護師が同行しています。怪我の対応や休憩の呼びかけなど体調管理を行っています。

⑫福島県奥会津地方（小学生キャンプ）

■派遣実績：8月22～23日1人、8月27～28日3人、9月23～25日4人、延べ8人派遣

■派遣の目的：福島県内の小学生が自然のなかで思いきり遊ぶキャンプの支援

■活動の状況：会津若松市のNPOによる、小学生キャンプ事業にボランティアを派遣しています。

II. ボランティアバス等の運行

ボランティアバス参加者 延べ120名（看護師6名含む）

（1）岩手県陸前高田市

①運行日程：7月22～24日 大型バス1台

■活動内容：仮設住宅周辺、展望台周辺及び道路沿いの草刈りなど

■参加人数：28名（協会評議員1名、看護師2名含む）

②運行日程：8月19～21日 大型バス1台

■活動内容：水田に埋まったガレキ撤去のための草刈り、漁網集め、海岸に流れ着いた巨木の運搬など

■参加人数：32名（看護師1名含む）

③運行日程：9月16～18日 大型バス1台

■活動内容：畑に埋まったガレキの撤去と草刈りなど

■参加人数：36名（看護師1名含む）

(2) 宮城県亘理町・山元町

- 運行日程：6月25～26日 レンタカー1台
- 活動内容：いちご農家の畑の泥出し、家屋の泥出しなど
- 参加人数：5名

(3) 宮城県亘理町

- 運行日程：8月10～12日 レンタカー1台
- 活動内容：いちご農家の支援など
- 参加人数：7名

(4) 宮城県山元町

- 運行日程：9月30～10月2日 レンタカー2台
- 活動内容：個人宅の片付けなど
- 参加人数：12名（看護師2名含む）

Ⅲ. 被災者支援ボランティア活動に係る募金・助成金等

総額 10,143,623 円 (9月30日現在)

募金額 6,643,623 円

街頭募金 1,141,023 円

郵便振込 3,389,889 円

窓口現金 2,112,711 円

助成金 3,500,000 円

■募金（企業・団体のみ掲載）

味とめ/NPO法人ITみらい塾ぷらっと三茶/生かそう憲法！今こそ9条を！世田谷の会/(株)インターメディアケア/(株)ヴァル研究所/A.A玉川グループ/かどい/きらく会/green drinks せたがや/ケアセンターwith/サークル・カッコー/サロン白樺/サロンすみれ/下馬らくらく会/手話あいらんどきいろぐみ/優れたドキュメンタリー映画を観る会/世田谷エネルギーシフト 55 パレード/世田谷こどもいのちのネットワーク/世田谷・生活者ネットワーク/玉堤つどいの家/治療室さくら/D1 コーポレーション笑顔復活プロジェクト/てんとう虫/東京ガス首都圏西導管事業部安全衛生協力会/東京ジョブコーチ/ドットの会/福祉作業所ライフステージAKI/(株)富士ゼロックス/(株)富士ゼロックス端数倶楽部/ふくろう旅団/フリースクール僕んち/平和食堂吉田屋/ミニデイわくわく/もめんの会/NPO法人Link 世田谷たすけあいネット/芦花公園しあわせの野音の会/ワーカーズコレクティブベストファイブ

■団体助成金：日本財団/三菱商事(株)

■物資提供：コールマンジャパン(株)/有限会社サンハート介楽工房

Ⅳ. 被災者支援ボランティア活動に係る支出（9月暫定）

科目	金額(円)	主な摘要
旅費交通費	3,668,516	現地までの交通費、高速代など
消耗品費	375,477	医薬品、寝袋など
燃料費	448,469	ガソリン代など
通信運搬費	14,650	宅急便代など
手数料	15,330	道路使用許可書発行手数料など
雑費	1,009,428	レンタカー代など
合計	5,531,870	

問い合わせ・連絡先

社会福祉法人世田谷ボランティア協会
(せたがや災害ボランティアセンター)
東京都世田谷区下馬2-20-14
tel 03-5712-5101 fax 03-3410-3811
mail setabora@otagaisama.or.jp